

日中友好新聞

題字 原田 親

No. 553

2008/10/25

日中友好協会  
岡山支部  
〒703-8256  
岡山市北3-6-30-514  
TEL.(086)272-3010  
郵便振替口座  
01250-0-3835  
http://rizhong.web.infoseek.co.jp/

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒103-0945 東京都千代田区  
西神田2-1-1 東方学生会2年棟

### 日中岡山太極拳講習会

## 第70期修了式

### 理事の西森さん、頑張って三級の認定

9月24日は日中岡山太極拳講習会の第70期の修了式でした。第70期を休まず講習に参加した皆さんに、皆勤賞の授与、西森さんには三級の認定証が送られました。



皆勤賞の皆さん

生徒仲間の励まし、それに私の少しの努力(?)。今度は二級を目指します。すぐ上手になりたい方ものんびり身体を動かしたい方も一緒に練習してみませんか。気持ちいい教室ですよ。

西森文子

### 五年かけて三級に合格

三級は熱心に練習すれば、二期終了時点で合格できるレベルの高い私たちの太極拳教室、五年かけてやっと合格できました。

運動神経ゼロ。記憶力普通以下。その上練習熱心とはいえない私が、五年間も続けられ合格できたのは、教室全体の醸し出す和やかな雰囲気、指導員の方々の優しくも厳しいご指導と



竹内理事長から三級認定証を受ける西森さん

## 財田地域のみなさんと中国帰国者 盛大に交流会



「秧歌」(ヤングア・田植え踊り)中央が何曉麗さん

9月27日(土)午後、福祉交流プラザさいでんでん、中国帰国者との交流会」がもたれました。

帰国者の方々、地域の方々、日本語教室関係者など60名を超える参加者で、プログラムを増刷……という盛況でした。

財田地区社会福祉協議会の岡会長の開会あいさつのもと、中国からの帰国者全員が前へ並んで、日本語であいさつ、参加者のあたたかい拍手を受けました。ついで、中国から来られてい

る張さん、潘さんによるチベット舞踊が、白い長い袖を振りながら優雅に踊られました。

次に、岡山大学(留学中の女子学生三名による「秧歌」(ヤングア・田植え踊り)が演じられました。可愛い、おそろいの中国服は、踊り手のひとり趙さんのお母さんが中国から送ってくれたものだそうです。

そのあと五つのテーブルに分かれて座った帰国者と日本人が、茶道講座生によるお抹茶とお菓子をいただきながら日本語で交流しました。留学生たちも

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.web.infoseek.co.jp  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



通訳をかねて話の輪に入りなやかに歓談しました。

後半は、下津井節などの日本舞踊が始まりました。青い半てん姿で五名の方が、手さばきも鮮やかに、力強く踊られました。

ハーモニカ演奏は、おなじみの益田さんが活躍、赤とんぼ「北国の春」などを演奏、つづいて、ハーモニカクラブの龍田さん(88歳)が、三本のハーモニカを使って「夜来香」などを軽やかに吹かれました。

日中友好協会から小林さんが参加され、協会の活動やカレンダー販売の訴えをされました。

この集まりを主催してくださった福祉交流プラザさいでん」の職員の方々、いろんな面でご協力をいただいている財田地区の方々のおかげをあらためて感じながらの散会となりました。

(坪井記)



残留婦人四世の 今岡明香子ちゃん  
抱かれて笑っている子



左から 何さん 福澤さん 篠原さん 今岡さん 大森さん  
益田さん 守本さん 山根さん 横山さん



福祉交流プラザ民謡同好会のみなさん

# 日本国民救援会

## 岡山県本部第27回大会

9月27日(土)、岡山県民主会館で、国民救援会岡山県本部第27回大会がありました。

国民救援会は今年創立80周年を迎えます。戦争反対を貫き、人権と民主主義を守るために活動しています。言論・表現の自由を守る活動、冤罪犠牲者の救援活動、労働者・市民の権利を守る活動、憲法改悪阻止の活動を行っています。今年葛飾マンションビラ配布事件で闘っている荒川庸生さんが来られて挨拶をされました。

ポストには役立つもの、不用品なもの、さまざまなチラシが投函されます。必要かどうかは読む人が判断することです。言論・表現の自由は憲法(21条)で保障されています。都議会報告等をいつものように配布していただけたのに住居侵入罪で逮捕されることは、平和と民主主義を守ろうとする言論・表現への弾圧です。」と訴えられました。

議案提案に対する討論として、岡山での事件等で頑張っている方たちが次々と発言されました。



ました。三井造船思想差別・人権侵害争議について、向野さんが、原爆症認定訴訟で闘っている川中優子さんが発言しました。特に、川中さんは2006年11月2日に岡山地方裁判所に『国の『野下』決定を取り消すこと』を求める訴

えを行って、全国で2001人目の原爆症認定訴訟の原告になりました。被爆の認定を受けているにもかかわらず、原爆症として認められていない人はわずか、1%にすぎないのです。川中さんの子宮体がん等々の病を抱えての裁判での闘いに、改めて、戦争に対する国の無責任な対応に怒りが沸いてきました。

中国『残留孤児』訴訟の終結にあたっての報告と今後の取り組みには日中友好協会岡山支部の小林氏が発言しました。国民救援会での支援では署名活動重視と裁判傍聴について傍聴席をいっばいにするなどの重要性を学んだと報告されました。署名数は27413筆、2004年7月14日の第1回口頭弁論から200

8年2月21日の第14回まで毎回法廷を多数の傍聴者でうめるよう努力しました。新支援法で国民年金の満額支給や生活保護に変わる給付金が支給されることになりましたが、地域で生活している人との厚い壁はまだあります。今後は日本語教室の充実と共に地域近隣の皆さんへの理解を得る活動、あるいは皆さんとの交流を深める活動を主に取り組んでいきます。」と報告されました。日中友好協会理事から、報告者の小林事務局長をはじめ竹内、山縣、田中、稲葉が参加しました。

～中国文化の深部に迫る・その文化と思想・今後の日中友好に生かす～

## 中国・文化講演会 —魯迅と毛沢東—

講師:岩間一雄 (岡山大学名誉教授 中国思想史の研究者)  
とき:10月11日(土) 午後2時～4時  
ところ:倉敷市文化交流会館 (倉敷駅より歩いて15分)  
お問い合わせ:倉敷市連島町 宮地宅 Tel 086-446-2711  
主催:日中友好協会倉敷支部

## 日本語教室開講4周年のつどい

中国帰国者の日本語教室は、中国「残留孤児」訴訟支援の活動の中から生まれました。

2004年10月23日、岡山市高島団地で最初に開講してから4年が経過しました。この間、2005年6月2日に総社教室、2006年9月2日に倉敷教室がそれぞれ開講し、県下3地域で、日本語教室が行われています。

現在岡山市では、長岡会場で週2回と福祉交流プラザさいでんで週2回の計4回開かれています。

講師は17人で、受講者は約20人です。最近小・中学生も参加するようになりました。若い中国からのお嫁さんの受講者は、日本語能力検定の1級を目指して頑張っています。この4年間、日本語教室は「楽しく学べ、交流できる場」であることを基本に運営してきました。今後もこの基本を守って進めていきたいと思っています。今回開講4周年を下記の日程と内容で開催いたします。多数ご参加くださいますようお願いいたします。

### 記

- 1、とき:10月19日(日)10:00～13:00
- 2、ところ:岡山市福祉交流プラザさいでんで  
Tel:086-279-2753
- 3、内 容:○各教室の出し物  
○歌(四季の歌、北国の春、ふるさと など)  
○クイズ(景品あり)  
○長岡町内会の皆さんの琴の演奏)  
○その他
- 4、参加費 無料 お問い合わせ  
日中友好協会岡山支部 事務局長  
中国帰国者の日本語教室 岡山の会事務局長  
小林軍治  
Tel:086-277-2470  
携帯:090-8240-2001

### 当日の日程

- 1、日中理事会と忘年会  
10月9日(木)岡輝公民館 10:00～12:00
- 11月14日(金)民主会館 18:00～20:00
- 12月13日(土)民主会館 14:00～16:00
- (2)日中岡山支部 忘年会  
12月13日(土)民主会館 16:00～18:30
- 16:00～18:30  
会費:2,000円、  
料理、飲み物持込
- 2、日本語教室  
10月8日(水)長岡集会所 16:00～17:30
- (1)第13回日本語教室講師団会議

- (2)日本語教室開講4周年のつどい  
10月19日(日)  
福祉交流プラザさいでんで  
10:00～13:00
- 3、その他  
(1)中国語講座  
講師の皆さんとの交流会  
10月11日(土)  
又來軒 18:00～20:00
- (2)日中友好協会全国理事会  
11月29日(土)～30日(日)  
日本青年会館 小林事務局長が参加

次回の新聞送付作業は  
10月14日(火)午後1時半  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方  
です。

青木由  
小林  
竹内和  
竹内袈  
坪井